규슈올레　　　　가라쓰 코스　지도

九州オルレ　唐津コースをさるく

さるき人・写真　松尾邦久

九州オルレ唐津コースは「桃山天下市」（名護屋城趾の横）を出発してフィニッシュの「波戸岬駐車場」までの11.2ｋｍの距離を４～５時間で歩くコースです。

出発直後はの起伏の多い丘陵部を上り下りするコースで、コース上で指定された通過ポイントにたどり着くが難しいところです。　オルレの発祥の韓国から来てコースを歩く人は、赤と青の矢印マークを目当てに迷うことなく楽しく歩いていました。

道　標

コースマーク

コースの中程は波戸岬へ向かって歩く平坦なコースです。集落や畑の中を通り「少年自然の家」にむかいます。　春の季節はコースのあちこちで花が迎えてくれます。　コースが終わりに近づくころは海岸線を歩くコースで、そのまま海の中に入ってしまいそうなところもありました。

前半に道に迷い苦戦した私は、５時間半かかってフィニッシュの波戸岬の駐車場に到着しました。

〔注〕説明文の①～⑮の番号は、配布されている「九州オルレ唐津コース地図」の通過ポイントの番号です

①　道の駅「桃山天下市」〔スタート〕

前田利家陣跡につながる山道への入り口です

オルレの地図はこの中にある観光案内所で入手できます（駐車場もあります）

出発直後の「前田利家陣跡」につながる山道はかなり起伏があるコースです

②　前田利家陣跡　〔0.2km付近〕

豊臣の大老の一人の前田利家の陣跡は秀吉の名護屋城まで５００mの位置にあります。　利家は徳川に次ぐ豊臣家臣団の筆頭として秀吉の信任を受け、朝鮮出兵の準備や陣立てでも秀吉を補佐しました。

陣跡に残る「旗竿石」

コースの途中の各所に設置されている「歴史探訪の道」の解説板

前田利家陣跡からは県道から農道を通るところがあります

③　古田織部陣跡

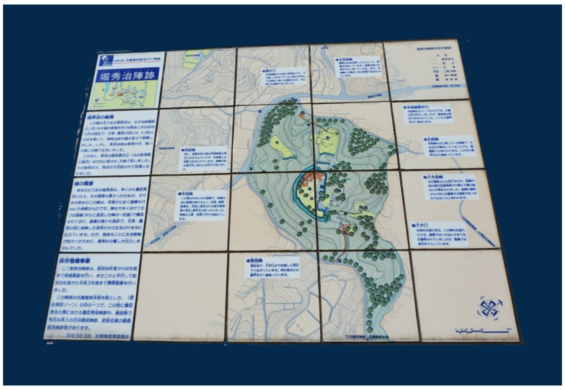
〔1km付近〕

古田重然（ふるた　しげなり）は秀吉が関白となると、従五位下織部正（織部助）の官位に叙任され古田織部とよばれるようになりました。　千利休門下の茶の湯上手で、「利休七哲」のひとりとされています。　文禄の役では秀吉の後衆の一人として兵１５０名を率いて名護屋城・東二の丸にて在番衆を勤めました。　朝鮮には渡航しなかったようですが、朝鮮から連れてきた陶工を中心に唐津焼を指導したといわれています。　陣屋の造りも他の大名のそれとは違い、戦国的とは違う趣が感じられます。

古田織部の陣跡

④　堀秀治陣跡〔2.1km付近〕

　堀秀治陣跡は名護屋城（本城）に近く広大で、本城に次ぐ規模で、御殿や能舞台などの遺構も発掘されています。　コースの中で最も整備された陣跡です。　秀治は越前（北ノ庄）の約18万石の城主で文禄・慶長の役には、約6000人の兵を率いて、16歳の若さで参陣したといわれています。　しかし、　秀治自身は渡海せず、戦いの間この陣で生活したそうです。



陣跡に設置してある現地案内図

大手口から東曲輪・本曲輪（くるわ）を望む

大手口から本曲輪へ向かう曲輪虎口（こぐち＝入口）

本曲輪跡　御殿や茶室の遺構がある

⑤　串道（くしみち）〔2.9km付近〕

堀秀治陣跡から名護屋城へ向かうと串道（くしみち）や本城に続く太閤道と呼ばれる古道があり、400年前の雰囲気がただよっています

⑥　海月〔3.7km付近〕

名護屋城内につくられた喫茶施設で、秀吉の桃山時代に盛んだった茶の湯を楽しめる

⑦　名護屋城趾〔4km付近〕

名護屋城は豊臣秀吉の朝鮮出兵（文禄・慶長の役）に際して出兵拠点として築かれました。　1592（文禄元）年の開戦から秀吉の死で諸大名が 撤退するまで、7年の間、大陸侵攻の拠点となりました。　城の面積は約17ヘクタールにおよび、当時では大坂城に次ぐ規模をもち、周囲には130以上もの諸大名の陣屋が構築され、全国から20万人を超える人々が集ったといわれています。　武士だけでなく、石工や大工などの人々が集結しました。　その子孫が今でも唐津周辺には暮らしています。

名護屋城の大手口、長い坂をのぼり三ノ丸へ入ります。　春には桜の名所で、夜はライトアップされています

名護屋城から麦原集落へ向かうコースに**法光寺**があります

法光寺は当初、街道沿いにあったそうですが、秀吉の「戦争に行くのに街道沿いに寺があっては不吉」という一言で、現在の場所に移されたといわれています。　そのときの詫びの気持ちとして、伊達政宗に命じて桜の木を持参させ、その桜を自ら植えたと伝えられています。

この先に麦原集落があります

「太閤手植えの桜」（塩竈桜＝塩釜桜）

八重桜の種類の「塩竈桜」

寺の座敷からは波戸岬や海が見え、秀吉はここで朝鮮へ出兵する船を見送ったと伝えられています

⑧・⑨　麦原集落と炎向窯〔5km付近〕

農家が多い通りは、なんだか懐かしい風景がありました

⑩　波戸岬少年自然の家〔7km付近〕

このあたりは起伏の少ない田園風景の中を歩くコースになっています

⑪　上杉景勝陣跡〔8.5km付近〕

岬への道の中程にある陣跡は現在は畑の中にあります。　景勝は5000人を率いて文禄2年,秀吉の名代として家臣の高梨頼親らを伴って朝鮮に渡り、日本軍最前線基地として熊川に城（倭城）を築城しました。　その功績で、豊臣家五大老となり、会津120万石の藩主となりました。

⑫　波戸岬遊歩道〔9.5km付近〕

コースが終わりに近づくと、海風をあびながら歩きます

海に入ってしまいそうなところも！

フィニッシュ目前の波戸岬キャンプ場付近

⑬島津義弘陣跡〔10.1km付近〕

海沿いの丘の上に陣跡があり、林の中に石塁が残っています。　義弘は九州南部の大名で、慶長の役では伊予今治藩主の藤堂高虎らの水軍と協力して朝鮮水軍を挟み撃ちにし、敵の有名な将軍の元均（げんきん）を討ち取りました。　朝鮮の役で義弘は「鬼石曼子（グイシーマンズ）」として朝鮮・明軍から恐れられたと伝わっています。

このあたりは海岸沿いの起伏の多いコースが続く

⑭・⑮　波戸岬海水浴場と波戸岬駐車場〔フィニッシュ〕

フィニッシュの駐車場にはサザエのつぼ焼きの屋台がたくさん・・おいしそう！

オルレ唐津コースに車で向かわれる方は、フィニッシュの波戸岬駐車場に車を止めて、路線バスでスタート地点の「桃山天か下市」向かえば便利です。

バス時刻表（昭和バス）

http://www.showa-bus.jp/goannai/jikokuhyou/

【参考】　「九州オルレ」（九州観光推進機構）発行資料

佐賀県立名護屋城博物館資料　　現地案内板